MONET

APIベースの暗号化ソリューション
(Application Programming Interface)

Application Protector forAPI

暗号化・復号化の機能をAPIで提供することで、
開発者の負担を軽減すると共に統合管理システムからの一元管理が可能になります。
統合管理システムでは、複数のApplication Protectorを管理することが可能となります。

protegrity

Application Protectorの優位性

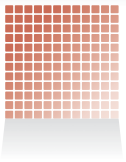
統合管理システムから一元管理できるApplication Protectorにはさまざまな優れた点があります。
暗号化・復号化部分のAPI提供により開発コストの削減、コンプライアンス・監査に最適な監視ログ機能、統合管理システムからの一元管理でセキュリティポリシの統一が実現できます。またC/C++, JAVAでの開発で容易に実装できます。

暗号化・復号化の機能をAPIで提供

暗号・復号部分のAPI使用で
開発コストの削減・負担の軽減
開発者・企業の双方に
メリットがあります

統合管理システムからの一元管理

ネットワーク全体を
一定のセキュリティレベルに
保ちます



C/C++, JAVA言語での開発

C/C++, Java発環境で
容易に暗号化機能の
実装が可能です

監視ログ機能

暗号鍵の使用履歴を
ログとして出力
コンプライアンス・監査に
対応します

暗号化対象

業種を問わず個人情報等の重要情報を、様々なポジションの多数スタッフがやりとりするワークスペースに効果的です。

組込機器

Embedded OS、
POSシステムなど

クライアントPC

自社アプリケーションとの
連携

サーバ

自社アプリケーションや
ミドルウェアとの連携

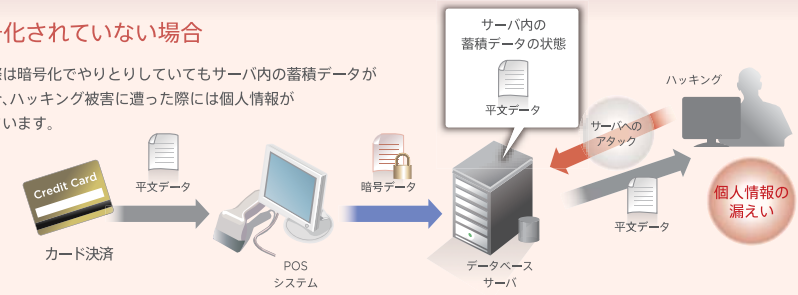
情報の入力から出力まで一貫した暗号化でのファイル管理

APIを経由しPEP(暗号化)サーバで暗号化を行います。実績のある暗号化ロジックをAPIに集約して提供します。万一、ハッキング被害を受けた場合も、暗号化されたファイルを侵入者は解読することができず、情報は守られます。

※PEP…Policy Enforcement Point

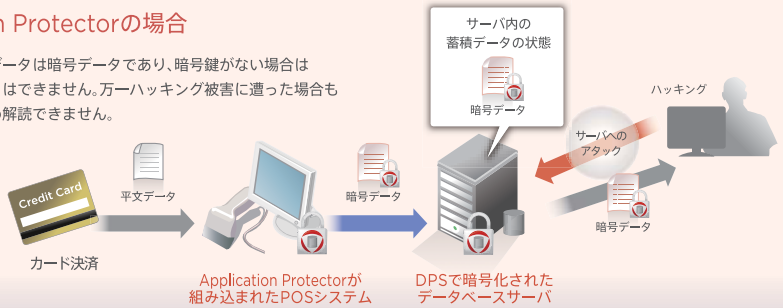
情報が暗号化されていない場合

データ送信の際は暗号化でやりとりしていてもサーバ内の蓄積データが平文である場合、ハッキング被害に遭った際には個人情報が解読されてしまいます。



Application Protectorの場合

サーバ内の蓄積データは暗号データであり、暗号鍵がない場合は平文にもどすことはできません。万一ハッキング被害に遭った場合も暗号鍵がないため解読できません。



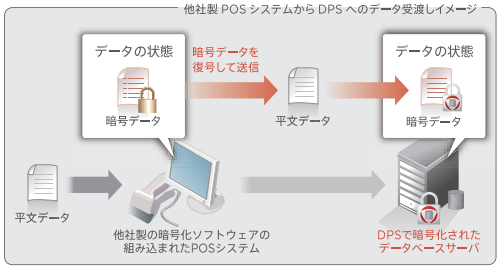
統合管理システムからの一元管理が重要である理由

ここに各地の支社すべてのセキュリティ担当者が各支社ベースでセキュリティ管理にあたる企業があるとします。担当者の管理スキル・ポリシは必ずしも一定ではありません。セキュリティ管理の最高責任者の想定する水準を保つには、定期的な監査・指導など相応のリソースが必要となることでしょう。

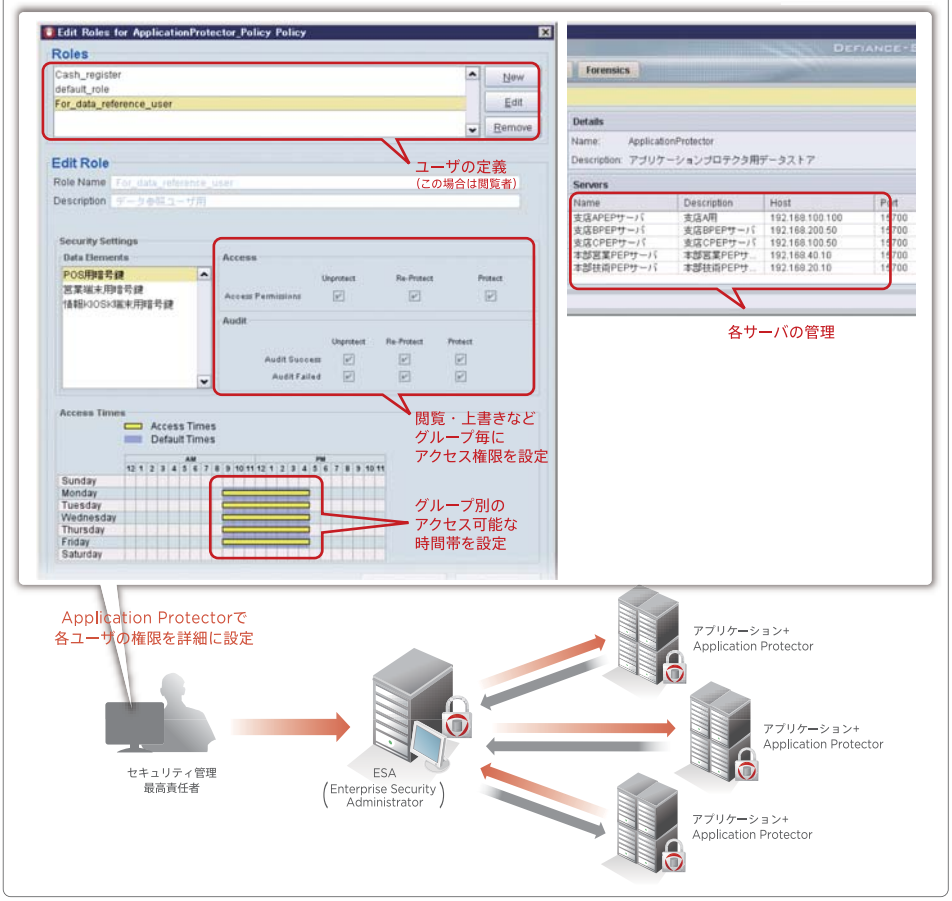
Application Protectorならこの問題をユーザのグルーピング、及び対象グループベースでのアクセス権限などを管理者が設定することで、クリアすることができます。

また情報の入力から出力をDPS・VPDiskとの連携で一元管理することで、入力段階で情報を暗号化した後に複合化することなくデータベースまでのファイルの送信が可能です。

他社製 POS システムから DPS へのデータ受渡しイメージ



一元管理のイメージ



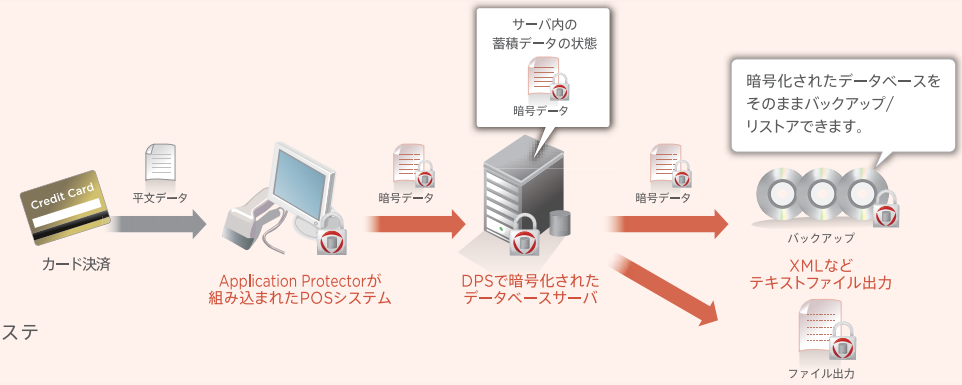
CASE システム構成例

システム構成例

大規模小売店のケース

アメリカでは全米に大きなネットワークをもつ販売店のPOSシステムへの組み込みなど、既に多くの導入事例を持っています。
特にPOSシステムはデータ入力以降の情報をすべて暗号化し、暗号鍵でやりとりすることで情報漏えい防止に効果的です。

その他、情報KIOSK端末やチケット予約・発券システム、医療システムなどへの導入が可能です。



仕様

OSと言語環境	C/C++	Linux	Windows	AIX	HP-UX	Solaris	z/OS	OpenUnix
	Java	JAVAをサポートするOS						

暗号アルゴリズム	AES (128/ 256bit)	3Key 3DES (168-bit)	FCE

Protegrity社について
Protegrity社は、米国コネチカット州スタンフォードで1996年に設立されました。米国金融ヘッドクォーターの集うスタンフォードを中心に各重要セキュリティソリューションを提供・展開しており、米国、ヨーロッパ、中国、およびイスラエルに開発拠点を持ち『Protegrity Security Suite』を、ワールドワイドに提供しています。
現在米国では、PCIDSSに基づくセキュリティソリューションの提供を中心に行っており、主要銀行、大手小売店から、大手ECサイト、大手アパレルなどへの導入し、トータル・セキュリティ・ソリューションを提供しています。

株式会社MONET
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-16-5
TUCビル7F
tel.03-5809-3188 fax.03-5809-3189
http://www.monetz.com/